

# News release

## スイス・リー・インスティテュートのシグマ調査による2018年上半期概算： 大災害に起因する世界の経済的損失は360億米ドル

- 2018年上半期の災害による経済的損失総額は360億米ドル、前年同期の640億米ドルから大幅に減少したほか、平均を大きく下回る
- 2018年上半期の災害による世界の保険損害額は200億米ドル、前年同期の300億米ドルから減少
- 冬の嵐「フリーデリケ」は2018年上半期で最大の損失事象となり、保険損害額は21億米ドルに
- 2018年上半期の災害事象による犠牲者数は約3,900人となり、半期の合計ではここ30年で最も低い水準

チューリッヒ、2018年8月16日 - スイス・リー・インスティテュートのシグマ調査の暫定推計値によると、2018年上半期の自然災害および人災から生じた世界の経済的損失は360億米ドルでした。この数字は経済的損失の10年平均の1250億米ドルをはるかに下回り、前年同期に計上された損失額からはさらに大幅な減少となっています。2018年上半期の世界の経済的損失総額のうち、保険により補てんされた金額は200億米ドルでした。欧州と米国を襲った一連の冬の嵐が、2018年上半期で最大の損失額の原因となりました。災害事象によって同期間に命を失うか行方不明となった人の数は、世界でおよそ3,900人でした（前年同期は約4,600人）。

世界の経済的損失総額360億米ドルのうち大半は自然災害が占めており、2018年上半期は340億米ドルでした（前年同期は580億米ドル）。残りの20億米ドルは、人災によるものでした。自然災害に起因する世界の保険損失額は前年同期の250億米ドルから180億米ドルへ減少した一方、人災に起因する保険損害額は前年同期の50億米ドルから20億米ドルへ減少しました。最も甚大な被害をもたらした事象の多くが保険普及率の高い地域で発生したため、世界の全経済的損失の56%近くが保険の対象となりました。

Media Relations, Zurich  
Telephone +41 43 285 7171

Lucia Bevere  
Telephone +41 43 285 9279

Dr Thomas Holzheu  
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong  
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd  
Mythenquai 50/60  
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121  
Fax +41 43 285 2999

[www.swissre.com](http://www.swissre.com)

[@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)

### **過酷な冬の天候が欧州と米国における2018年上半期の損失の原因に**

損失額で見ると、欧州で発生した冬の嵐「フリーデリケ」が2018年上半期で最も高額な損害事象となりました。この嵐はドイツとオランダで大きな損失を発生させただけでなく、フランス、ベルギー、英国にも影響を与えました。スイス・リー・インスティテュートのシグマ調査では、経済的損失の総額を27億米ドルと見積もっています。そのうち保険損害は約21億米ドルでした。

3月の「ノーイスター」を含め、米国を襲った一連の冬の嵐は米国の広範な範囲に豪多雪、雨水、着氷を伴う暴風、雪解けによる洪水および沿岸洪水をもたらし、経済的損失総額は、保険損害の29億米ドルを含めて40億米ドルにのぼりました。3月の嵐「ノーイスター」は、2018年の前半6ヶ月で発生した損害額としては米国保険業界最大の損害で、保険請求額は16億米ドルにのぼりました。

### **2018年上半期のその他の出来事**

雷雨、竜巻、ひょうを含む一連の対流性暴風雨が米国と欧州をはじめとする世界各地を襲いました。保険業界にとって最も損害の大きかった出来事は、竜巻と巨大なひょうを伴い米国南東部の複数の州にまたがって影響を与えた4日間に及ぶ春の嵐で、すべてを合算した保険損失額は11億米ドルでした。

さらに、ハワイとグアテマラで発生した大規模な火山の噴火、日本、台湾、パプアニューギニアで発生した地震も被害をもたらしましたが、その保険損害額はまだ確定していません。

### **2018年はこの先もまだ損害額が膨らむ可能性あり**

2018年は上半期からすでに世界のいくつかの地域が熱波と厳しい乾燥の天候条件に見舞われており、それがカリフォルニア州やギリシャでは大規模な山火事の発生原因となり、欧州や南オーストラリアの幅広い地域には干ばつを発生させています。多くの地域で気温が平均を上回り、より乾燥した気象条件下に置かれています。例えば、オーストラリア気象局の発表によると、南オーストラリアでは史上2番目に乾燥した秋を迎えています。農業部門の干ばつに起因する損失額、ならびに山火事による損失額はまだ確定していません。

スイス・リーのCATベリル部門責任者のマーティン・ベルトークは次のように述べています。「今後は、ここ数週間で私たちが経験してきた厳しい熱波や乾燥の連続などのような、より極端な気象条件が続くものと予想しています。これがニュー・ノーマルになる可能性も十分にあります。科学的気候モデルによると、気温と湿度は世界の多くの場所で上昇し、それと同時に変動も激しくなると思われます。また、今後、降水パターンに変化が現れ、厳しい干ばつによる山火事の脅威を目の当たりにすることになるでしょう。都市化が加速し、自然林の中の住居エリアの拡大が続いていくと、この損失の可能性が著しく悪化していきます。社会はこのような事態の発生が増えることに合わせて変化し、備えていく必要があります。」

表1: 2017年と2018年の上半期の経済的損害額および保険損害額の総額

単位: 10億米ドル	2018年	2017年	前年比	10年平均
<b>経済的損失総額</b>	36	64	-44%	125
自然災害	34	58	-42%	117
人災	2	6	-62%	8
<b>保険損害総額</b>	20	30	-33%	35
自然災害	18	25	-28%	30
人災	2	5	-58%	5

出所: スイス・リー・インスティテュート

表2: 2018年上半期自然災害の保険損害額上位の出来事

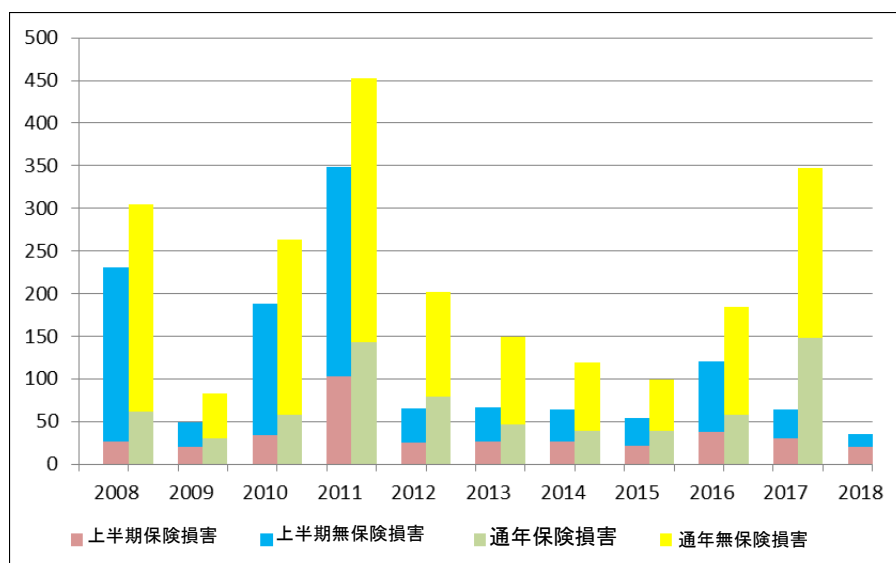
(単位: 10億米ドル)

月	保険損害	経済的損失	事象	国
1月	2.1	2.7	冬の嵐「フリーデリケ」 <sup>2</sup>	ドイツ、オランダなど
3月	1.6	2.2	冬の嵐「ノーイスター」 <sup>3</sup>	米国(北東部)
3月	1.1	1.4	雷雨、竜巻、ひょう	米国(南東部)
4月	1.1	1.4	雷雨、雨水 <sup>3</sup>	米国、カナダ
5月	1.0	1.4	雷雨、竜巻、ひょう	米国(中部、東部)
6月	1.0	1.4	雷雨、ひょう <sup>3</sup>	米国(コロラド州)

注: <sup>1</sup>賠償責任保険および生命保険を除く、損害保険および事業中断保険で保障される損害

出所: <sup>2</sup>スイス・リー・インスティテュートがPerils AGのデータに基づいて推定; <sup>3</sup>米国自然災害概算、プロパティ・クレーム・サービス(PCS)認可取得済み

図表1: 2008年～2018年自然災害関連の損害額



出所: スイス・リー・インスティテュート

[シグマ エクスプローラー ウェブアプリの機能](#)が更に充実しました。[sigma-explorer.com](#)にアクセスして、[natural catastrophe data projected onto world maps](#)([世界地図で見る自然災害データ](#))を閲覧、ダウンロード、シェアしてください。

## スイス・リーについて

スイス・リー・グループは世界のレジリエンス向上を目指し、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。自然災害および気候変動、また高齢化社会からサイバー犯罪に至るまで、様々なリスクの予想と管理を行っています。スイス・リー・グループの目標は、お客様のために新しい機会とソリューションを生み出し、社会のさらなる繁栄と発展を可能にすることです。1863年にスイスのチューリッヒで創業したスイス・リーは、世界約80拠点にて事業を展開しています。大きく3つの事業部門、再保険、コーポレート・ソリューションズ、およびライフ・キャピタルに分かれて運営を行い、それぞれの事業部門がグループ全体の理念に寄与する独立した戦略と目標を掲げています。

